

4

エ

5

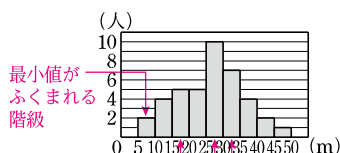
① エ

② ア

6

エ

- 4 40人の記録なので、第1四分位数は10番目と11番目の記録の平均値、第2四分位数は20番目と21番目の記録の平均値、第3四分位数は30番目と31番目の記録の平均値です。



第1四分位数がふくまれる階級 第2四分位数がふくまれる階級 第3四分位数がふくまれる階級

最小値がふくまれる階級が5m以上10m未満であることから、イは不適とわかります。

→10m以上15m未満の階級に入っているから

第1四分位数がふくまれる階級が15m以上20m未満であることから、アは不適とわかります。

→20m以上25m未満の階級に入っているから

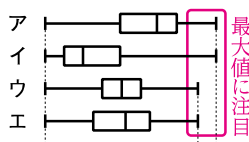
第2四分位数がふくまれる階級が25m以上30m未満、第3四分位数がふくまれる階級が30m以上35m未満であることから、ウは不適とわかります。

→第2四分位数が30m以上35m未満、第3四分位数が35m以上40m未満の階級に入っているから

エの図は、最大値、最小値、四分位数がすべてヒストグラムの階級にあっています。

- 5 ヒストグラム、箱ひげ図ともに階級の数値が与えられていないので、それぞれの図の形で判断します。

最大値が他より小さい①と④のヒストグラムが、箱ひげ図のウかエにあまります。

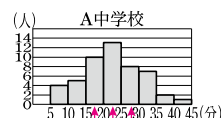


①のヒストグラムの方が④のヒストグラムより四分位範囲が大きいと考えられるので、①の箱ひげ図にはエがあてはまります。

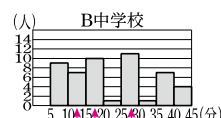
②と③のヒストグラムは、度数が多い方が②は右寄りに、③は左寄りになっています。よって、②の箱ひげ図は右に寄ったアがあてはまります。

- 6 A中学校、B中学校はともに50人なので、第1四分位数は13番目のデータ、第2四分位数は25番目と26番目のデータの平均値、第3四分位数は38番目のデータです。

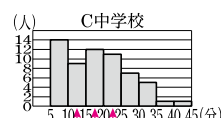
C中学校は60人なので、第1四分位数は15番目と16番目のデータの平均値、第2四分位数は30番目と31番目のデータの平均値、第3四分位数は45番目と46番目のデータの平均値です。



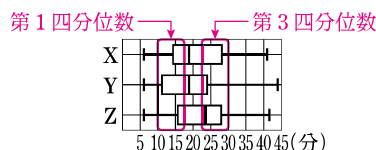
第1四分位数がふくまれる階級 第2四分位数がふくまれる階級 第3四分位数がふくまれる階級



第1四分位数がふくまれる階級 第2四分位数がふくまれる階級 第3四分位数がふくまれる階級



第1四分位数がふくまれる階級 第2四分位数がふくまれる階級 第3四分位数がふくまれる階級



A中学校は、第1四分位数がふくまれる階級が15分以上20分未満なので、A中学校の箱ひげ図はZとわかります。
(第2四分位数、第3四分位数もあっている)

B中学校は、第3四分位数がふくまれる階級が25分以上30分未満なので、B中学校の箱ひげ図はXとわかります。
(第1四分位数、第2四分位数もあっている)

C中学校は、第3四分位数がふくまれる階級が20分以上25分未満なので、C中学校の箱ひげ図はYとわかります。
(第1四分位数、第2四分位数もあっている)

よって、X~Zの箱ひげ図とA~Cの中学校の組み合わせは、XがB中学校、YがC中学校、ZがA中学校のエが正解です。